

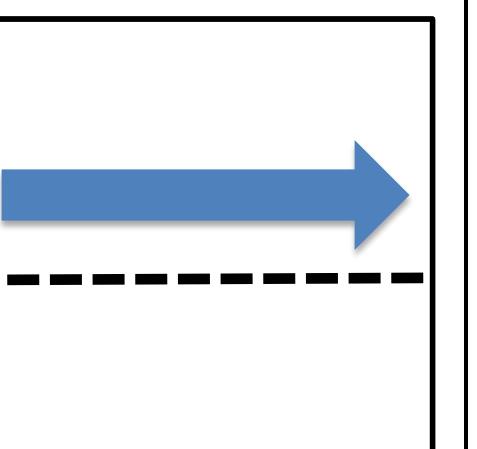
## 野菜の需給・価格動向レポート(平成29年7月10日版)

## 1 主要野菜の生産出荷状況

種類	6月の価格情報			7月の価格情報 (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	6月下旬の関東及び近畿ブロックの入荷量( )内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の7月下旬までの見通し	※レポートの読み方については、注意書きを参照してください					
	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額							平均価格					
	上旬	中旬	下旬					現時点の価格	平均価格				
葉茎菜類	キャベツ	67.20	68 (101%)	68 (101%)	80	74.19 • 8,304t (97%)	群馬(72), 岩手(14)		群馬産は、天候不順により生育が遅れていたが、6月下旬の降雨により回復がみられ、現在平年並みの出荷は、今後は平年より多めの出荷の見込み。岩手産は、5月までの低温により露地作に生育遅れがみられたものの、現在は回復し、引き続き平年並みの出荷の見込み。				
		81.66	69 (84%)	74 (91%)	86	88.91 • 1,626t (76%)	群馬(70), 長野(26)		群馬産の出荷は平年より多め、岩手産は平年並みに回復すると見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。				
	たまねぎ	78.12	94 (120%)	87 (111%)	89	93.34 • 4,980t (119%)	兵庫(39), 佐賀(10), 香川(9)		兵庫産は、収穫が終了し、7月からは貯蔵物の出荷となっており、作柄は平年並みとなったことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。佐賀産も同様に、貯蔵物からの出荷となっているが、作付面積等の減少から、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。香川産は、天候に恵まれ生育は順調で豊作傾向となっていることから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。				
		78.12	98 (125%)	84 (108%)	86	93.34 • 1,659t (87%)	兵庫(81)		香川産の出荷が平年より多めと見込まれるもの、兵庫産及び佐賀産が平年並みまたは平年より少なめと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。				
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	277.31	383 (138%)	412 (149%)	431 (155%)	287.00 • 1,311t (92%)	茨城(59), 千葉(14)		茨城産は、トンネル作と露地作との端境が発生していることから、現在は少なめの出荷となっているものの、露地作の生育は概ね順調であることから、今後は平年並みの出荷の見込み。千葉産は、干ばつ傾向等による影響や品質低下もあることから、現在平年より少なめの出荷となっているものの、6月出荷分がずれ込むことから、今後は平年よりやや多めの出荷の見込み。				
		334.73	280 (84%)	280 (84%)	270 (81%)	487.13 • 209t (91%)	香川(27), 徳島(23), 三重(17)		茨城産の出荷が平年並みに回復すると見込まれ、千葉産も出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、平均に近づくものの、引き続き平均を上回って推移する見込み。				
	はくさい	67.05	52 (78%)	84 (125%)	82	58.82 • 3,005t (103%)	長野(90)		長野産は、6月の降雨により生育が順調で前倒し出荷となっていることから、現在平年より多めの出荷となっているものの、今後は平年並みの出荷の見込み。				
		74.06	75 (101%)	86 (116%)	80	62.79 • 2,448t (118%)	長野(100)		長野産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、平均に近づくものの、引き続き平均を下回って推移する見込み。				
	ほうれんそう	376.10	475 (126%)	513 (136%)	449	583.95 • 715t (125%)	群馬(27), 茨城(23), 栃木(22)		群馬産は、低温及び干ばつ傾向により生育がやや遅れ気味のため、現在平年より少なめの出荷となっているものの、今後は気象の影響を受けずらいハウス作に切り替わることから、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、概ね順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。栃木産は、天候次第ではあるものの、引き続き平年並みの出荷の見込み。				
		416.73	582 (140%)	661 (159%)	590	670.87 • 279t (105%)	岐阜(81), 北海道(8)		群馬産、茨城産及び栃木産の出荷が平年並みまたは平年並みに回復すると見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均価格を下回って推移する見込み。				
果菜類	レタス (結球)	120.13	107 (89%)	111 (92%)	89 (74%)	120.13 • 5,961t (107%)	長野(83), 群馬(13)		長野産は、6月に入ってからの適度な降雨により生育が前進化し前倒し出荷となっているため、引き続き平年より多めの出荷の見込み。群馬産は、生育が概ね順調なことから、引き続き多めの出荷の見込み。				
		125.61	119 (95%)	118 (94%)	91 (72%)	125.61 • 2,427t (119%)	長野(98)		長野産及び群馬産の出荷が平年より多めの出荷と見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。				
	きゅうり	189.84	231 (122%)	262 (138%)	225	221.22 • 4,489t (106%)	福島(38), 岩手(12), 秋田(11), 山形(7)		福島産は、6月下旬から気温が上昇し、引き続き平年より多めの出荷の見込み。岩手産は、5月以降の低温及び豪雨の影響により、現在少なめの出荷となっているものの、6月下旬以降天候が回復していることから、今後は平年並みに回復する見込み。秋田産は、低温による生育の遅れから、現在少なめの出荷となっているものの、気温の上昇とともに平年並みの出荷の見込み。山形産は、作付面積の減少、5月の干ばつ及び6月の低温の影響により、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。				
		186.08	188 (101%)	220 (118%)	184	232.80 • 1,660t (133%)	福島(28), 北海道(25), 愛媛(21), 香川(8)		山形産の出荷が平年より少なめと見込まれるもの、福島産の出荷が平年より多め、岩手産及び秋田産が平年並みに回復すると見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。				
	トマト (大玉)	230.55	240 (104%)	260 (113%)	312	252.46 • 4,655t (92%)	青森(14), 北海道(12), 栃木(11), 千葉(10), 岩手(7), 茨城(7), 群馬(7)		青森産は、6月の日照不足により生育が遅れていることから、現在平年より少なめの出荷となっているものの、天候が回復していることから、今後は平年並みの出荷の見込み。北海道産は、最近の日照不足が懸念されるものの、引き続き平年並みの出荷の見込み。栃木産は、冬春作が出来荷終盤を迎えることから、今後も平年並みの出荷の見込みであり、7月末で切り替わる予定。千葉産は、現在平年並みの出荷となっているものの、出荷が本格化する夏秋作の作付面積が減少していることから、今後は平年より少なめの出荷の見込み。岩手産及び群馬産は、今後は平年並みの出荷に回復、茨城産は、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。				
		239.96	251 (105%)	265 (110%)	299	298.46 • 1,980t (111%)	北海道(45), 岐阜(12), 熊本(11)		千葉産及び茨城産が平年より少なめと見込まれるもの、北海道産及び栃木産が、平年並みと見込まれ、青森産、岩手産及び群馬産が天候により平年並みに回復すると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、平均に近づくものの、引き続き平均を上回って推移する見込み。				
	なす	311.92	347 (111%)	365 (117%)	340	230.51 • 2,614t (110%)	群馬(30), 茨城(26), 栃木(24)		群馬産は、干ばつの影響から現在やや少なめの出荷となっているものの、天候が回復しつつあることから、今後は平年並みの出荷の見込み。茨城産は、生育が順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。栃木産は、干ばつ傾向により生育遅れが見られるものの、夏秋作が増加する見込みであることから、現在少なめの出荷は、平年並みに回復する見込み。				
		271.01	323 (119%)	319 (118%)	291	232.81 • 1,169t (103%)	山梨(29), 徳島(17), 大阪(14), 奈良(9)		群馬産、茨城産及び栃木産の出荷が平年並みに回復すると見込まれることから、平均を上回っている価格は、平均並みに近づく見込み。				
	ピーマン	276.65	319 (115%)	336 (121%)	348	276.65 • 1,147t (101%)	茨城(58), 岩手(25)		茨城産は、出荷後期を迎える一部に生り疲れが見られるものの、草勢は維持されているため、引き続き平年並みの出荷の見込み。岩手産は、6月中旬以降の低温の影響により、現在平年より少なめの出荷となっているものの、露地作の出荷が始まることから、今後は平年並みの出荷に回復する見込み。				
		293.32	249 (85%)	262 (89%)	304	293.32 • 455t (115%)	青森(15), 兵庫(14), 大分(12), 宮崎(10), 北海道(8), 高知(8)		茨城産の出荷が平年並みと見込まれるもの、岩手産が天候により平年並みに回復すると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、平均に近づくものの、引き続き平均を上回って推移する見込み。				
根菜類	だいこん	86.59	64 (74%)	115 (133%)	100	94.60 • 2,187t (110%)	青森(48), 北海道(46)		青森産は、生育は概ね順調であるため、引き続き平年並みの出荷の見込み。北海道産は、低温による影響はあるものの、引き続き平年並みの出荷の見込み。				
		89.53	78 (87%)	127 (142%)	104	95.37 • 1,077t (103%)	北海道(69), 青森(18), 岐阜(11)		青森産及び北海道産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。				
	にんじん	133.01	135 (101%)	135 (101%)	132	133.01 • 3,306t (87%)	青森(52), 北海道(23), 千葉(22)		青森産は、低温により生育の遅れはやでているものの、引き続き平年並みの出荷の見込み。北海道産は、低温により一部の場で生育の遅れはでているものの、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、5月の干ばつ傾向の影響による出荷の遅れが回復したことから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。				
		132.62	106 (80%)	107 (81%)	97	132.62 • 1,270t (84%)	青森(60), 北海道(29)		青森産及び北海道産の出荷が平年並みと見込まれるもの、千葉産の出荷が、引き続き平年より多めと見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。				

注: 1 平均価格は、過去6年(平成20~25年)の関東及び近畿の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。  
 2 単位は円/kg。上段は関東、下段は近畿ブロック。  
 3 単位は円/kg。  
 4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアで平成28年実績である。  
 5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聽き取りをもとに機構が作成したもの。

## 1 主要野菜の生産出荷状況

種類	6月の価格情報			7月の価格情報 (参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	6月下旬の関東及び近畿ブロックの入荷量 ( ) 内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の7月下旬までの見通し		
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格		指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額				「図の見方」		
	上旬	中旬	下旬				平均価格	現時点の価格水準	見通しの価格水準
いも類	138.39 (101%)	140 (98%)	135 (98%)	111.77 1.2945t (112%)	茨城(37), 千葉(21), 静岡(16)			茨城産は、天候不順による出荷の遅れが回復し、現在平年より多めの出荷となっており、作柄も概ね良好であることから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。千葉産は、7月末の終期を迎えるが、現在平年より少なめの出荷は、作付面積減及び干ばつ傾向による肥大不足により、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。静岡産は、低温及び干ばつの影響はあるものの、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
	144.98 (97%)	141 (97%)	140 (99%)	111.77 0.813t (82%)	北海道(32), 長崎(22), 千葉(14)			茨城産の出荷が回復し、平年より多め、静岡産が平年並みと見込まれるもの、千葉産の出荷が平年より少なめのまま出荷終了と見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	

注：1 平均価格は、過去6カ年（平成20～25年）の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く）で、保証基準額の算定の基となる価格。

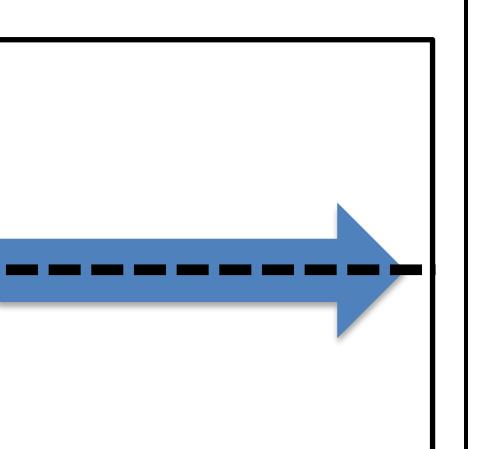
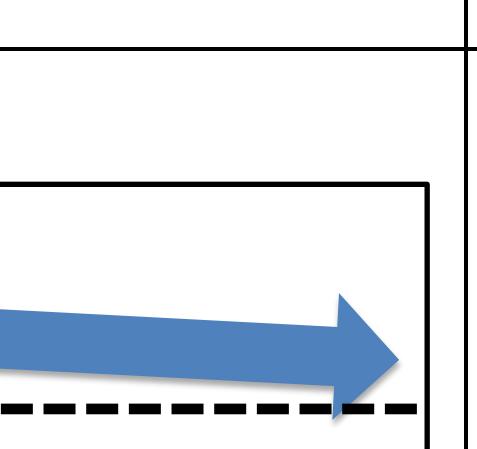
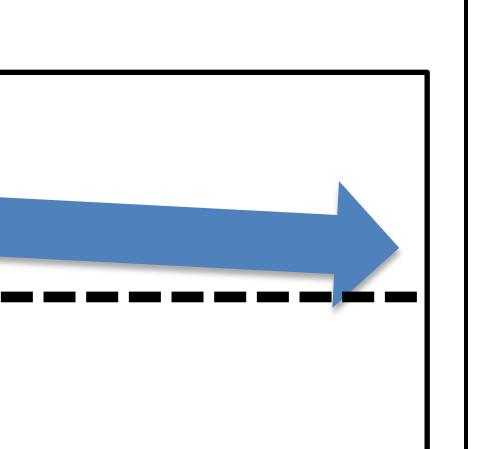
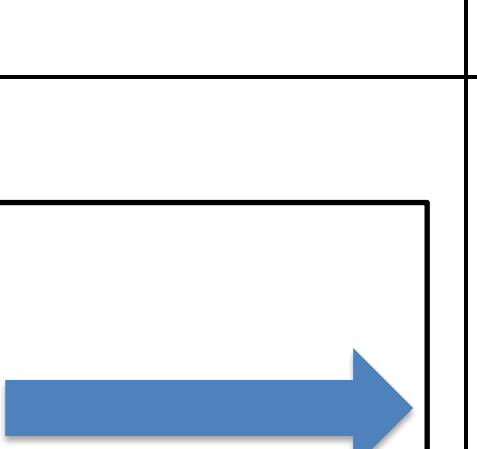
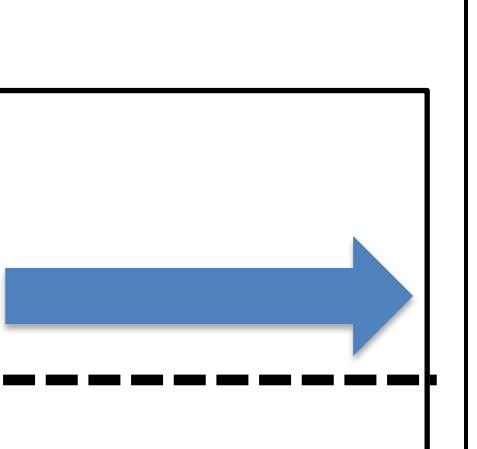
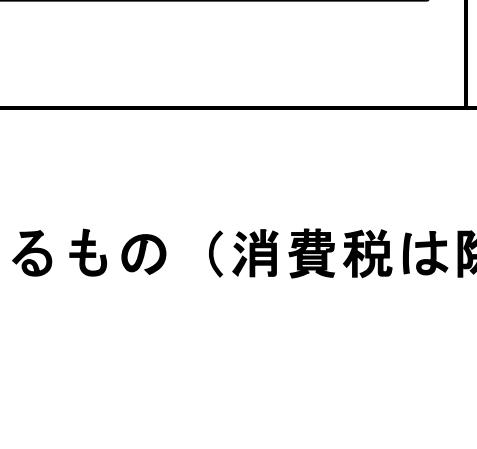
2 別別平均販売価額の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額（平均価格の90%）を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。

3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。

4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで平成28年実績である。

5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聽き取りをもとに機構が作成したもの。

## 1 主要野菜の生産出荷状況（特定野菜）

種類	6月の価格情報			7月の価格情報 (参考) 過去5カ年平均価格	6月下旬の東京都及び大阪市場の入荷量 ( ) 内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の7月下旬までの見通し		
	(参考) 過去5カ年平均価格		東京都・大阪市場の別別価格				「図の見方」		
	上旬	中旬	下旬				平均価格	現時点の価格水準	見通しの価格水準
洋菜類	397	355 (89%)	464 (117%)	465	371 0.588t (131%)	北海道(59), 長野(23)		北海道産は、5月末以降の天候不順が一部ほ場の生育に影響したものの、生育は概ね順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。長野産は、6月下旬の降雨で生育が前進化し、現在平年より多めの出荷となっているものの、今後は平年並みの出荷に落ち着く見込み。	
	424	363 (86%)	475 (112%)	479	424 0.145t (117%)	北海道(49), 長野(34)		北海道産及び長野産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均並みの価格は、引き続き平均並みで推移する見込み。	
果菜類	1147	1438 (125%)	1673 (146%)	1531	1009 0.156t (83%)	佐賀(22), 栃木(20), 長崎(16), 福島(11)		佐賀産は、春先の曇天の影響で全体的に草勢が弱いことから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。栃木産及び長崎産は、生育期の低温等の影響から、現在少なめの出荷となっているものの、夏芽の出荷が増えることから、今後は平年並みに回復する見込み。福島産は、生育期の低温等の影響による生育遅れから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。	
	1110	1442 (130%)	1643	1438	999 0.56t (97%)	佐賀(35), 福岡(21), 長崎(18), タイ(6)		栃木産及び長崎産の出荷が平年並みに回復すると見込まれるもの、佐賀産及び福島産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、平均に近づくものの、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
かぼちゃ	207	238 (115%)	248 (120%)	261	212 0.1210t (110%)	茨城(24), 神奈川(18), 鹿児島(11)		茨城産は、やや生育遅れがあったものの、引き続き平年並みの出荷の見込み。神奈川産は、生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。鹿児島産は、7月中旬に出荷終盤を迎えるが、一部春先の低温による肥大不良があったものの、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
	144	175 (122%)	189 (131%)	196	151 0.307t (73%)	メキシコ(41), 長崎(18), NZ(11), 石川(8)		茨城産、神奈川産及び鹿児島産において、現在の出荷状況が続くと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	

注：1 平均価格は、過去5カ年（平成24～28年）の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。

2 別別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。

3 別別価格の赤字及び青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は平均価格を80%を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。

4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで平成28年実績である。

## 2 野菜の輸入動向 一 野菜の輸出入数量と主な生鮮野菜の輸出入について 一

○輸入について	野菜の輸入数量			野菜の輸出数量		
	野菜全体の輸入量(平成29年5月)			野菜全体の輸出量(平成29年5月)		
○輸入について	輸入合計	1位	2位	3位	輸出合計	1位
	平成27年 前年比	平成28年 前年比	平成29年5月 前年同月比	平成29年1～5月 前年同期比	平成27年 前年比	平成28年 前年比
5月の輸出量は、野菜全体では1,266トン（前年同月比130%）と、昨年の7月以降、1カ月連続で前年を大幅に増加して推移している。また、輸入量の多い加工野菜は、1,7万5千トン（同115%）と前年をかなり大きく上回り、野菜全体では、2,6万トン（同119%）と大幅に増加した。	生鮮野菜 826,845 93	加工野菜 1,752,337 98	野菜合計 2,579,182 97	平成29年5月 85,667 130	生鮮野菜 22,992 240	加工野菜 9,510 121
このうち、中国産の輸入数量は合計で11万7千トン（同116%）と、輸入量の45%を占めた。	加工野菜 862,416 104	野菜合計 2,631,308 102	平成29年1～5月 413,428 120	野菜合計 31,867 139	野菜合計 11,101 117	
5月の輸出量は、野菜全体では1,266トン（前年同月比130%）と、昨年の7月以降、1カ月連続で前年を大幅に増加して推移している。また、輸入量の多い加工野菜は、1,7万5千トン（同115%）と前年を大幅に増加した。	加工野菜 176,892 101	野菜合計 260,171 119	平成29年5月 770,485 109	野菜合計 515 75	野菜合計 752 90	
このうち、中国産の輸入数量は合計で11万7千トン（同116%）と、輸入量の45%を占めた。	野菜合計 116,927 116	野菜合計 118,913 113	平成29年1～5月 584,793 117	野菜合計 4,498 25	野菜合計 3,924 98	
○輸出について	輸入合計	1位	2位	3位	輸出合計	1位
	平成27年 前年比	国名 数量	国名 数量	国名 数量	平成28年 前年比	国名 数量
5月の輸出量は、野菜全体では1,266トン（前年同月比130%）と、昨年の7月以降、1カ月連続で前年を大幅に増加して推移している。また、輸入量の多い加工野菜は、1,7万5千トン（同115%）と前年を大幅に増加した。	生鮮野菜 27,460 143	中国 18,327	ヨーロッパ 8,100	豪州 949	生鮮野菜 279 64	米国 119
このうち、中国産の輸入数量は合計で11万7千トン（同116%）と、輸入量の45%を占めた。	加工野菜 16,539 138	中国 8,934	メキシコ 7,602	豪州 949	加工野菜 83 65	台湾 50
5月の輸出量は、野菜全体では1,266トン（前年同月比130%）と、昨年の7月以降、1カ月連続で前年を大幅に増加して推移している。また、輸入量の多い加工野菜は、1,7万5千トン（同115%）と前年を大幅に増加した。	野菜合計 7,392 150	中国 7,094	ヨーロッパ 110	豪州 108	野菜合計 50 107	香港 35
このうち、中国産の輸入数量は合計で11万7千トン（同116%）と、輸入量の45%を占めた。	野菜合計 7,198 159	中国 7,166	中国 32	野菜合計 4,440 108	メキシコ 4,433	メキシコ 49
5月の輸出量は、野菜全体では1,266トン（前年同月比130%）と、昨年の7月以降、1カ月連続で前年を大幅に増加して推移している。また、輸入量の多い加工野菜は、1,7万5千トン（同115%）と前年を大幅に増加した。	野菜合計 4,197 95	韓国 3,971	オランダ 189	野菜合計 4,191 109	台湾 252	メキシコ 21
このうち、中国産の輸入数量は合計で11万7千トン（同116%）と、輸入量の45%を占めた。	野菜合計 3,456 109	中国 3,203	台湾 252	野菜合計 3,173 109	中国 2,731	台湾 442
5月の輸出量は、野菜全体では1,266トン（前年同月比130%）と、昨年の7月以降、1カ月連続で前年を大幅に増加して推移している。また、輸入量の多い加工野菜は、1,7万5千トン（同115%）と前年を大幅に増加した。	野菜合計 3,410 467	中国 3,269	豪州 53	野菜合計 730 109	中国 711	韓国 19
このうち、中国産の輸入数量は合計で11万7千トン（同116%）と、輸入量の45%を占めた。	野菜合計 野菜合計 19,237 15,229 8,000 4,141 4,523 4,095 4,414 3,173 730	中国 中国 ヨーロッパ ベトナム 中国				